



米倉誠一郎氏



杉浦治氏

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。一般財団法人ネットショップ能力認定機構は昨年新たに設立したばかりですが、多くの皆さまの支援により、無事に新年を迎えることができました。誠にありがとうございます。

◆日本の危機である(一) こそ、人材育成に焦点を当てていくべき

「日本の借金時計」というサイトでは、借金が刻々と増えていることが分かります。「あなたの家庭の負担額」はすでに1600万円を超え、国の借金もGDP比で17.2%、OECDの調査ではドイツの世界1位、2位のイタリアにさ

え11.8%です。しかも、日本の政治状況は御座る続けるばかりです。

EC業界では市場拡大が続き、顧客コミュニケーションにソーシャルメディアを用いるインターネットコマースという言葉も生まれました。実店舗と

EC人材育成の支援へ

一般財団法人ネットショップ能力認定機構
代表理事 米倉誠一郎 理事・事務局長 杉浦治

との連携も数々見られました。これは、日本の産業構造において、大きな変革が進行しつつあることとの証です。日本各地に散在する特色のある商品や名産品が、国内はもちろんアジア各地と直結できるチャンスが生まれて

ないと思います。スマートフォンやタブレットはますます普及し、さまざまなサービスが開発されるでしょう。電子書籍では、電子教材の広がりを期待しています。学習ログが友人ネットワーク内で共有され、優秀な先輩

います。

一方、こうした大チャンスを迎えても、事業展開に必要な人材を確保することが、ますます困難になっていきます。EC業界に必要な人材の能力要件を定義し、評価する仕組みがなかったからです。そこでわれわれは、ネットショップ能力認定機構を設立しました。

◆人材の確保が、成長のボトルネックになる ネット業界の大きなトレンドは、昨年と変わら

の学習プロセスから後輩が学ぶ仕組みができるでしょう。市場動向の最も著しい展開は、新興アジア市場への進出が本格化するのだと思います。昨年、Yahoo! JAPANとタイオオ、楽天と百度の連携が始まりましたが、今後、越境EC市場における爆発的市場拡大と熾烈な戦いが始まるでしょう。

◆「アジア・ネイティブ」の出会いも支援される われわれはこうした大変化に備えて日本中の大学・専門学校でのEC人材育成を支援します。また、日本の各種学校に在籍する新興アジア諸国からの留学生にもEC人材の一端を担ってもらいます。日本人学生と留学生を結びつけ、彼らが大企業はもちろん地方中小企業の新興市場への進出を担っていく体制を拡充したいと考えています。

今後の日本において、成長の核となるEC業界の地位向上をめざすとともに、優秀な人材を確保して採用に結びつける、人材開拓プラットフォームになります。加えて、日本のいいものを、アジア中に知ってもらいたいためエンジンになりたいと考えています。